

平成30年度 福岡県小郡市施策評価シート

【政策・施策名】

政策	4 やさしさあふれる健康と福祉づくり	
施策	7 保健活動	施策コード
施策内容	1 保健サービスの充実	P4071
	2 総合保健福祉センターの活用	P4072
	3 小郡市健康増進計画の推進	P4073
	4 食育の推進	P4074
	5	
	6	
	7	
	8	
	9 その他	P4079

【施策の基本目標】

市民一人ひとりが自分や家族の健康に意識を向け、健康づくりに取り組み、健康で明るい市民生活を送れるよう、各種保健サービスを充実させ、「おごおり元気プラン」に基づき、一次予防に重点を置いた施策を展開していきます。

【投入されたコスト及び業務量】

投入コスト(千円)		H30年度決算
事業費 (財源内訳)	国支出	2,159
	県支出	13,423
	地方債	0
	その他	57,797
	一般財源	335,275
合計(千円)		408,654

※本施策の推進にかかった評価対象の事務事業費合計額を表示しています。

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

子ども・健康部長	施策の進捗状況・評価	市民の幸福満足度の指標の第一は、まずは自分や家族等の「健康」であり、その「健康」を体現できる大きな要素が「食」である。乳幼児から始まる健康に関する各種施策は概ね目的を果たしていると考えるが、前年度に引き続き、特定健診やがん検診の受診率が伸び悩む等、課題もクローズアップされている。
	今後の施策展開	我々は市民生活の幸福感に直接携わる施策を展開する重要なポジションであるため、より具体的かつ効率・効果的な健康増進事業を市民に提供していかなければならない。市民が健康に関心を抱けるような啓発活動を更に充実し、一方で従来の健康事業の推進を図りつつ、時事的な現象やニーズ等にも、柔軟に対応できるよう常々準備・検討していく。
	施策の進捗状況・評価	
	今後の施策展開	
	施策の進捗状況・評価	
	今後の施策展開	
副市長意見		

【第5次小郡市総合振興計画における成果指標】

成果指標番号	成果指標	担当課	担当係	基準値(H26)	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	R01年度実績	R02年度実績	最終目標(R02)
56-①	乳幼児健診の受診率	健康課	母子保健係	95.2%	95.5%	98.2%	98.1%	97.9%			高水準の現状値を維持
56-②	がん検診の受診率	健康課	健康推進係	21.4%	21.3%	20.5%	20.0%	21.0%			50%以上
57	予防接種の接種率(日本脳炎、子宮頸がん、インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌を除く)	健康課	健康推進係	78.9%	85.0%	94.5%	94.7%	92.4%			95%
58	健康運動リーダー養成数(人数)	健康課	総務係	37区、161人	35区、178人	200人	214人	221人			61区、122人以上
59	健康運動リーダーによる地域活動	健康課	総務係	16区	16区	18区	21区	22区			61区
60	(食育)中央研修参加者延べ人数	健康課	総務係	101人	55人	166人	164人	185人			180人

【施策を実現するための主な事務事業とその状況】

連番	施策コード	業務の性質	業務名	業務の概要	担当部署				平成30年度指示内容			
					部名	課名	係名		決定内容	指示内容	決定権者	
J004162	P4072	S1	総合保健福祉センター施設・修繕工事事業	開館より15年を迎え、総合保健福祉センター内の各設備について、故障及び老朽化箇所、修繕を行うにあたり部品等がメーカーで生産終了している箇所が出てきている。これらの修繕工事(補修・機器入替等)を行い、施設の通常運営を維持する。また、設備によってはリースによる機器の入れ替えを行う。	子ども・健康部	健康課	総務係		拡大	建設より月日が経過し、機能維持のための改修が必要となる部分が増大してきている。施設運営に支障がないよう、個別計画等の年次計画に基づく補修事業の実施を行うこと。	部長	
					成果指標	指標名		単位				H30実績
						①	施設設備の不具合等による臨時休館日数	日				0
J000539	P4073	A	市民の健康づくり支援事業【第5次計画指標管理】	地域における市民の自主的・主体的健康づくりを支援するため、自治公民館・校区公民館等において地域住民に対する運動支援ができる健康運動リーダーの養成・育成を行う。	子ども・健康部	健康課	総務係		拡大	地域における市民の自主的・主体的健康づくりを支援することで、負担感の少ない事業展開をすること。	部長	
					成果指標	指標名		単位				H30実績
						①	健康運動リーダー養成数(人数)【第5次計画指標】	人				221
J000544	P4074	A	食生活改善事業(食生活改善推進会育成・支援)【第5次計画指標管理】	食生活改善推進員養成講座の修了者で組織される食生活改善推進会(小郡市健康を守る母の会)の活動に関して、育成事業として研修会(中央研修)の開催、支援事業として会の取り組みがスムーズに進むよう事前準備等の必要な支援を行い、栄養・食生活の改善を通した健康づくりを推進する事業である。	子ども・健康部	健康課	総務係		現状維持	関係団体との連携調整も行いつつ、市の事業(講演会)	課長	
					成果指標	指標名		単位				H30実績
						①	(食育)中央研修参加者延べ人数【第5次計画指標】	人				185
J000548	P4072	A	総合保健福祉センター管理・運営事業	市民の健康増進及び福祉向上に関する総合的な施策を推進するとともに、市民の自主的な健康づくり、生きがいづくりの支援を目的とし、その拠点施設である総合保健福祉センターの管理・運営を行う。	子ども・健康部	健康課	総務係		現状維持	施設の老朽化による修繕箇所の増加やニーズの多様性に対応する一方で、健康面や安全面を第一に確保することを念頭に、予算の確保や工夫が必要。現場を把握し、適切な管理運営に努めること。	部長	
					成果指標	指標名		単位				H30実績
						①	利用者数	人				310,949

【施策を実現するための主な事務事業とその状況】

連番	施策コード	業務の性質	業務名	業務の概要	担当部署			平成30年度指示内容		
					部名	課名	係名	決定内容	指示内容	決定権者
J004161	P4073	A	健康づくりポイント事業	市民のボランティア活動や地域でのイベント参加などについて、インセンティブ制度を導入することで、各取組みの促進・拡大や市民の社会参画の推進を図り、市民の健康維持増進に繋げる。	子ども・健康部	健康課	総務係	その他	アクションプランで介護ボランティアポイント事業を先行することになったため、担当課との連携を行うこと。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績	
						①	-	-	-	
J000523	P4071	A	健康増進事業(結核、肝炎、がん検診委託事業含む)【第5次計画指標管理】	結核及びがんによる死亡者数を減少させるためには、早期発見・早期治療が重要であることから、結核健診及び各種がん検診等の受診率の向上に資する。	子ども・健康部	健康課	健康推進係	拡大	胃内視鏡検査が早期に開始できるよう医師会との調整や、近隣市町村と情報交換を進め、準備を開始すること。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績	
						①	がん検診の受診率【第5次計画指標】	%	21	
J000524	P4071	A	特定健康診査事業(委託事業含む)	特定健康診査は、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、メタボリックシンドロームに着目し、この該当者及び予備群を減少させるための特定保健指導を必要とする者を、的確に抽出するために行う。	子ども・健康部	健康課	健康推進係	拡大	電話などの受診勧奨と併せて、自己負担金の見直しやインセンティブの導入などの検討を行うこと。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績	
						①	特定健康診査受診率	%	37.3	
J000525	P4071	A	特定保健指導事業(委託事業含む)	保健指導対象者自身が、健診結果を理解して体の変化に気づき、自らの生活習慣を振り返り、改善するための行動目標を設定するとともに、自らが実践できるよう支援する。また対象者が自分の健康に関するセルフケアができるようになるよう支援する事業である。	子ども・健康部	健康課	健康推進係	現状維持	対象者が生活習慣病を予防できるよう、保健指導の質を上げること。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績	
						①	特定保健指導対象者の減少率	%	19.7	
J000526	P4071	A	予防接種事業(委託事業含む)【第5次計画指標管理】	感染症の原因となるウイルスや細菌に対する免疫をつけ感染症を予防することを目的とし、市民へ予防接種の接種機会を安定的に確保し、市全体の接種率を確保する事業である。	子ども・健康部	健康課	健康推進係	現状維持	高齢者肺炎球菌の特例措置が終わる予定なので、国などの情報収集に努め、市民にわかりやすい周知を行うこと。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績	
						①	予防接種の接種率(日本脳炎、子宮頸がん、インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌を除く)【第5次計画指標】	%	92	
J000962	P4071	A	慢性腎臓病(CKD)予防対策支援事業	慢性腎臓病は高額の医療費を要しかつ介護保険にも大きな影響を及ぼす人工透析の予備群であると同時に、重大な心血管疾患の危険因子となることが明らかになっている。一方で慢性腎臓病は予防が可能であるといわれているが、現時点では慢性腎臓病や人工透析の実態把握が行われていないのが現状である。慢性腎臓病や人工透析の実態を把握し、予防のための効果的な方法を検討し、更にCKDに伴う循環器疾患の発症を抑制するために関係機関と連携を図り、慢性腎臓病対策を重視した生活習慣病予防対策を推進する。	子ども・健康部	健康課	健康推進係	現状維持	平成30年からスタートした小郡三井糖尿病等連携会議で効果の検証を行う。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績	
						①	腎機能低下者の継続受診または治療開始者数(40～74歳)	件	13	
J004163	P4071	A	特定健康診査の充実事業(心電図)	国の基準により、医師が必要と認める者については、詳細な健診項目として心電図及び眼底検査を実施する。 高血圧や高血糖等の生活習慣病は血管障害を起こし、虚血性心疾患等の心疾患を引き起こすため、平成26年から、心疾患の早期発見、重症化予防、医療費適正化のために特定健康診査受診者のうちⅡ度高血圧者以上に心電図検査を独自に追加して実施。 平成29年度から特定健康診査受診者全員に心電図検査を実施し取り組みを強化する。	子ども・健康部	健康課	健康推進係	現状維持	実績の分析を行い、効果の検証を行うこと。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績	
						①	心電図検査実施した結果、所見ありの者(H30から変更)	人	787	
J004165	P4071	A	健康増進事業の充実事業(若年者健診・保健指導)	糖尿病等の生活習慣病は40歳代から増加するため、40歳未満の者について正しい生活習慣及び生活習慣病の予防の重要性に関する普及啓発を通じて、生活習慣病の予防を行うために特定健康診査に準じる健康診査・保健指導を実施する。	子ども・健康部	健康課	健康推進係	改善・効率化	若年者健診の節目検診実施に向け、予算の確保や関係機関との調整を進めること。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績	
						①	若年者健診受診率	%	22	
J000515	P4071	A	乳幼児健康診査事業(4か月、10か月、1歳6か月、3歳1か月)【第5次計画指標管理】	乳幼児期において幼児の健康・発達の個人差があり、保健・医療による対応の有無が、その後の成長に影響を及ぼす。視覚、聴覚、運動、発達等の心身障害、その他の疾病及び異常や遅れを早期発見し、適切な指導を行う。栄養、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、乳幼児の健康の保持増進及び育児不安の軽減を図る。	子ども・健康部	健康課	母子保健係	現状維持	平成30年度より3歳1か月健診に組み込んでいる巡回相談(発達スクリーニング)について検証を行うこと。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績	
						①	乳幼児健診の受診率(乳幼児健診)【第5次計画指標】	%	98	
J000516	P4071	A	育児発育相談事業	保護者の育児不安の軽減を目的に、身体計測、栄養相談、歯科相談、保健師・助産師による子育て相談を実施。	子ども・健康部	健康課	母子保健係	拡大	平成30年度より発達のスクリーニング強化を行っているので、ニーズの検証を行い必要に応じ見直しを図ること。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績	
						①	参加者数	人	484	
					成果指標					

【施策を実現するための主な事務事業とその状況】

連番	施策コード	業務の性質	業務名	業務の概要	担当部署			平成30年度指示内容		
					部名	課名	係名	決定内容	指示内容	決定権者
J000517	P4071	A	ようこそ赤ちゃん教室事業	妊婦とその家族へ妊娠・出産・育児への正しい知識の普及と妊婦同士の交流を図ることにより出産、育児への不安の軽減を図り、家族への育児協力の大切さを理解してもらう。	子ども・健康部	健康課	母子保健係	現状維持	対象者へ広く周知し参加者を増やし、仲間づくりを図ることで不安や孤立の解消に繋げること。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績	
						①	参加率	%	56	
						②				
J000518	P4071	A	おやこあそび教室事業	心身の発達に心配がある乳幼児とその家族に対し、早期から子どもの発達支援・相談支援を中心に介入を行うことで、将来のある乳幼児等の健全育成に努めることを目的とした事業である。	子ども・健康部	健康課	母子保健係	現状維持	利用者への丁寧な対応はもちろんだが、平成30年度に事業強化(回数や体制)しているので、検証をしながら必要に応じ見直しを行うこと。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績	
						①	参加者数	人	32	
						②	教室参加率	%	91	
J000519	P4071	A	離乳食教室事業	離乳食の進め方に関する知識の普及と育児不安の軽減を図ることを目的に、離乳食に関する理解を深め、家庭で安心して離乳食を進めることができるよう支援する事業である。	子ども・健康部	健康課	母子保健係	現状維持	乳児にとって生活習慣の獲得時期なので、無理のないとりわけ離乳食の普及を図ること。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績	
						①	教室参加者数	組	86	
						②				
J000520	P4071	A	妊産婦・新生児訪問事業	乳児のいる家庭を訪問し、新生児の発育・栄養・環境・疾病予防・育児不安の解消を目的とし、様々な不安や悩みを傾聴し子育て支援に関する情報提供を行う。また、支援が必要な家庭に対しては、適切なサービスに結びつけ地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図る。	子ども・健康部	健康課	母子保健係	現状維持	妊婦や産婦の実情に合わせた支援ができるよう、関係課や関係団体との連携、調整を行うこと。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績	
						①	実施率	%	96	
						②				
J004495	P4071	A	産後ケア事業	育児中の母親の孤立化や産後うつ、児童虐待の予防を図るため、育児支援を特に必要とする母子を対象に産後ケア(ショートステイ、デイサービス、母乳育児相談)を実施し、母体の保護及び保健指導を行う。	子ども・健康部	健康課	母子保健係	現状維持	産婦新生児訪問などを通じて、要支援者の把握と事業周知を行っていき、母親の孤立防止や育児不安の解消を図ること。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績	
						①	産後ケア(ショートステイ・デイケア)利用率	%	11	
						②	産後ケア(母乳育児相談)利用率	%	13	